



発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町 10 番 1

北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300 fax 093-752-5303

ハチドリ通心(信)

2010 年 10 月号 E-mail ceres@fun-c.jp URL http://www.fun-c.jp

株式会社グラノ24K 様の取組みのご紹介

当社の生ごみ処理機と簡易堆肥化装置（イージージェットジュニア）をご活用いただいています、バイキングレストラン「野の葡萄」やウエディング「ぶどうの樹」、旅館「宿膳八幡屋（満海の湯）」などを展開する株式会社グラノ24K 様（福岡県岡垣町）が進める取組みをご紹介します。

生ごみを活かして土を育てる

株式会社グラノ24K グループはレストラン・旅館から出てくる生ごみを分別して、微生物の力を借りて発酵させた有機質肥料をつくり、山土と混ぜ合わせて健康な土を育てていきたいと考えています。現在、1日約300kgの生ごみをリサイクルしています。また、グループ内の農業法人ゆうまにて、この取組を分かり易く伝えるための苗ポットを商品化しました。



生ごみを分別し、生ごみ処理機に投入、その場で減量し、発酵分解床（微生物、竹炭、もみ殻混入）を1ヶ月に1度程度取り出す。



取出した発酵分解床をグループ内の「農業法人ゆうま」のたい肥場へ運ぶ。



大きな袋（フレコンバッグ）の中で、微生物、竹炭、竹粉、米ぬかなどを混ぜ合わせ、エアークンプレッサにて空気を送り続け60日間でたい肥を作る。



出来たい肥は山土と混ぜ合わせ、バジルやパセリ、マリーゴールド等の苗作りをする。



こうして出来た野菜や果物、花などの苗を「ハッピーサイクル元気に苗（な〜れ）！！」と名付け、かわいい苗ポットにしました。例えば、結婚式にお招きした大切なゲストの方々に2人のメッセージとして活用できたらと思っています。

グラノ24K様の願い

私たちに出来ること！！

それは、少しずつでも良いから多くの人に、「生ごみを活かして土を育てる」意味を伝えて行く事、感動体験を味わってもらってから伝えるということ。

このような生ごみリサイクルギフトを贈られた方が環境やエネルギー等の問題に関心をもつきっかけとなる事・・・それが私たちの願いです。

株式会社グラノ24K 奥本部長インタビュー

レストラン、旅館など外食産業の生ごみ再生利用率は非常に低いと言われています。原因としては分別が難しい、環境に対する意識が低いことが考えられます。そんな中で、循環型農業を目指していくことは人の意識を変えないと出来ない事だと思えます。この取組を地域の方にお話しし、見学に来ていただくと、「現在は化学肥料を使っているけど、出来れば有機肥料を使いたい」「いい取組みなので、収穫後、田んぼにこの堆肥を使って菜の花を植えよう！」など具体的な話が出てきています。地域の方から「グラノ24Kがあって良かった！」と言ってもらえることを目指して頑張っていきます。



<展示会、セミナーのお知らせ>

バイオマス・ニッポン in 九州2010のご案内

展示会 HP <http://www.eco-t.net/>

●10月13日(水)~15日(金)

●西日本総合展示場新館(北九州市小倉北区浅野3-8-1)

展示会場内で、株式会社エコ・エナジー&楽しい株式会社で「食とエネルギーの地産地消」をテーマにした共同出展を行います。また、バイオマス利活用に関するテーマで、特にオススメのセミナーをご案内します。

※裏面、申込書をご記入の上、FAXでお送りください。

「バイオマスタウン事業化推進の成功ポイント 虎の巻」

●日時:10月13日(水)16:00-17:15

●場所:西日本総合展示場 AIM3F F 展示場

●主催:NPO 法人環境コア、

ハチドリ通心バイオマスタウンアドバイザー事務所

※参加者には今回ご紹介の「苗ポット」をプレゼント



「バイオマス NPO サミット in エコテクノ〜地域からバイオマス利用を考える〜」

●日時:10月14日(木)13:30-16:00

●場所:エコテクノ会場内 プレゼン会場

●主催:NPO コミュニティシンクタンクあうるず

●協催:(社)日本有機資源協会

うち、14:20-14:40

テーマ「食とエネルギーの地産地消を目指して」

講師:NPO 法人環境コア 副理事長

バイオマスプロジェクト事務局長 松尾康志

ハチドリ通心は楽しい株式会社のホームページでご覧いただけます。
URL: www.fun-c.jp/ をご覧ください。(中神が担当しました。)

下記、セミナー申込票で申込の上ご来場くださいませ。(FAX 093-752-5303)

A-7「バイオスタウン事業化推進の成功ポイント 虎の巻」

(10/13 (水) 16:00-17:15) 場所：西日本総合展示場 AIM3F F 展示場

主催者挨拶 (3分)

講演1「バイオスタウンの現状と今後の展開について」

講師 (社)日本有機資源協会 事務局参与 嶋本浩治

講演2「バイオスタウン事業化推進の成功ポイント」

講師 ハチドリノ樹 バイオスタウンアドバイザー事務所
代表 松尾康志

質疑応答

閉会

B-6「バイオマスサミット in エコテクノ～地域からバイオマスの利用を考える～」

(10/14 (木) 13:30-16:00) 場所：エコテクノ会場内 プレゼン会場

開会挨拶

北海道「NPOが変える地域バイオマスの利用」

講師：NPO 法人コミュニティシンクタンクあうるず専務理事 菊池貞雄

長野県「おひさまと森林を活かした低炭素な環境モデル都市の創造」

講師：NPO 法人南信州おひさま進歩 理事 池戸通徳

福岡県「食とエネルギーの地産地消を目指して」

講師：NPO 法人環境コア 副理事長 バイオマスプロジェクト事務局長 松尾康志

全国「NPOによるバイオマス活動の紹介」

講師：(社)日本有機資源協会 嶋本浩治

総合討論 (50分)

閉会

セミナー申込票 (来場予約票)

FAX で事前にご予約下さい。 FAX 093-752-5303

日付	来場時間	セミナー	セミナー参加日に○ をお願いします。
10月13日(水)	___時頃	バイオマスセミナー【A-7】	
10月14日(木)	___時頃	バイオマスセミナー【B-6】	
10月15日(金)	___時頃		

貴社名

ご住所

所属部署 役職 お名前

所属部署 役職 お名前

所属部署 役職 お名前

TEL

E-Mail